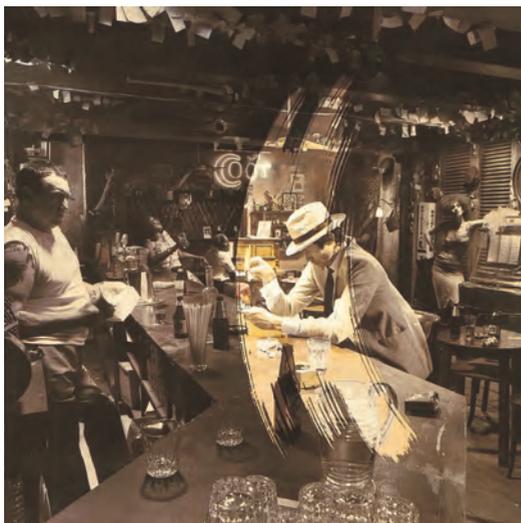


アルバム(スタジオ録音盤)
ランキング

第 9 位



曲順	曲名
1	イン・ジ・イヴニング IN THE EVENING
2	サウス・バウンド・サウレス SOUTH BOUND SAUREZ
3	フル・イン・ザ・レイン FOOL IN THE RAIN
4	ホット・ドッグ HOT DOG
5	ケラウスランブラ CAROUSELAMBRA
6	オール・マイ・ラヴ ALL MY LOVE
7	アィム・ゴナ・クロール I'M GONNA CRAWL

IN THROUGH THE OUT DOOR

イン・スルー・ジ・アウト・ドア

1979年8月15日発売

プロデューサー：ジミー・ペイジ

エンジニア：レルフ・マッセス、レンナート・オストランド

『ブレゼンス』リリースの翌年にバンドは史上空前の規模を誇るツアーに乗り出すが、暴力事件をめぐって興行団体との間に訴訟問題が発生し、さらにロバート・プラントの息子が急病で他界するというアクシデントにも見舞われ、ツアーは頓挫。その後、休養期間を置いてスウェーデンで制作されたのが本作だ。

あまりにもトラブルにまみれたそれまでの数年を反映してのことなのか、どこかハリビリー的な様相も伴った内容となっている。これまで全面的に主導権を握っていたジミー・ペイジは最もツェッペリ的な収録曲「イン・ジ・イヴニング」以外は前面から退き、「ケラウスランブラ」のようにロバートとジョン・ポール・ジョーンズがほぼ全面的にイニシアティブを握った作りになっている。R & B的な楽曲が多く収録されているのもロバートの趣味性が色濃く反映されているように思えるが、ひょっとしたら、ロバートの意思や好みをこの作品ではどこまでも優先したということなのかもしれない。「高見展」

【回答者コメント】 時間を経るほど詰まっているもの多さに気づき、好きになっていくという不思議な体験を味わわせてもらった。「確立した世評」と「音楽家のやむにやまれぬ変化」のバランスの取り方としては絶品だと思う。(平野和祥)